

産
業

Industry



融合と進化

工芸品から精密機器まで、京都には匠の技と進取の精神が息づいています。

伝統と革新、地域と世界をつなぎながら新境地を開く

京都各地のイノベティブなものづくりとその現場に迫ります。

Fusion and Evolution

From traditional handicrafts to precision instruments, Kyoto thrives on master craftsmanship and the spirit of innovation. Experience firsthand examples of innovative craftsmanship from all over Kyoto, where tradition and innovation come together and the linkage of local and global forges new frontiers.

1 京都工芸染匠協同組合
Kyoto Cooperative Association of KOUGEISENSHO

2 デザイン椽
Design Tochi

コアマシナリー株式会社／有限会社芳賀製作所
CoreMachinery,Inc ／ HAGA Manufacturing Co., Ltd.

株式会社アカツキ製作所
AKATSUKI MFG.CO.,LTD.

京都北都信用金庫
KYOTO HOKUTO SHINKIN BANK

3 京すだれ川崎
Kyo-sudare Kawasaki

KYOTO gishi*design
KYOTO gishi*design

株式会社溝川 × 有限会社三葉商事
Mizokawa Co., Ltd. × Mitsuba Shoji Co., Ltd.

リバティ × 丸仙株式会社 × COS KYOTO株式会社
Liberty × Marusen Co., Ltd. × COS KYOTO Co., Ltd.

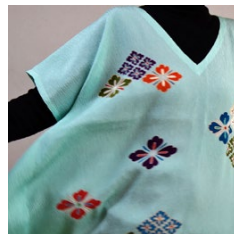
株式会社佐藤喜代松商店 × K T C
SATO KIYOMATSU SHOTEN CO., LTD × KTC

京都の四季を染める 京友禅カフタン

京友禅は、江戸時代元禄の頃、宮崎友禅斎が模様染を編み出したことにより発祥したと伝えられています。手描きで図案を生地に染める高度な技術・技法で、絵画的色彩が特徴的な総合芸術の集大成とされています。



大阪・関西万博に向けて、主にイスラム文化圏で着用される民族衣装のカフタンを京友禪の技法で染め上げた「京友禪カフタン」を初めて創作しました。世界の皆様に京都の、そして京友禪の魅力を発信できるように京都の四季を描いた新作を展示いたします。



京都工芸染匠協同組合
京都市中京区西六角町97

1-2

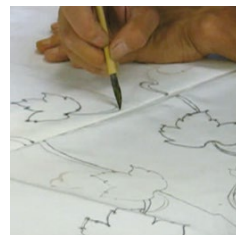
世界に向けた新しい挑戦 京友禅サリー

京友禅の新しい挑戦

世界に羽ばたく京友禅として、南アジアの民族衣装であるサリーを京友禅の技法で染め上げた「京友禅サリー」を創作しました。インドの首都ニューデリーをはじめ、国内外で展示を行い、世界の人びとに魅力を発信しています。

「図案」に注目

サリーは、一枚の長方形の布を体に巻きつけて着用するのが特徴で、いろいろな表現ができる自由さを持っています。「京友禅サリー」の新作は、京都の四季をテーマに、四季折々の自然の美を映す京友禅模様を描いています。



京都工芸染匠協同組合
京都市中京区西六角町97

2-1

HARIGANE

革新的なテキスタイル「HARIGANE」

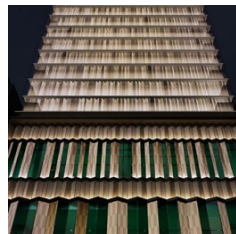
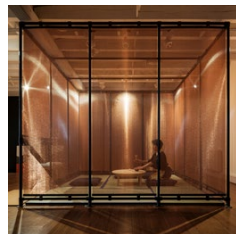
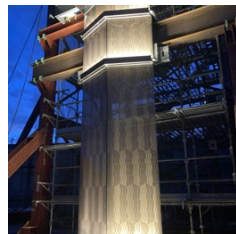
「HARIGANE」は日本の伝統技術と現代的な感性が融合した、革新的なテキスタイルです。光と影、デザインと機能、伝統と革新、相反する要素を融合させながら、空間に新しい美しさを提案します。

壁面装飾として空間を美しく彩る

半透明でありながらも、視線を遮ることでプライベートな空間を確保。光を通すことで、明るく開放的な空間を演出します。

建物の外壁を覆うことも可能

その軽やかさと独特の美しさは、建築物に新しい表情を与え、都市景観に調和しながらも、個性を際立たせます。



京都北都信用金庫

デザイン棟

与謝郡与謝野町三河内166

2-2

アルミニウム組子細工のランプ

先端工芸

伝統と最先端が共生する、京都ならではのコラボレーションです。

組子細工と金属精密切削

906個の部品で構成されたシェードは、先端産業で使われている金属の精密加工技術で作られています。その精度は $\pm 1/1000$ ミリメートル単位。高精度に仕上げられた部品によって成り立つ緻密な幾何学模様は、互いに押し合う力の均衡によってその形状を保っています。

黒谷和紙とレジン

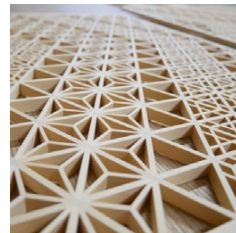
光を温かく拡散する和紙は京都府綾部市の黒谷和紙。それを覆うレジンとは、近年、従来の接着剤としての用途ではなく、アクセサリーやアートに活用され始めた新技術。紙や布、金箔などを封入し、今までにない新たな価値観を提案します。



京都北都信用金庫

コアマシナリー株式会社／有限会社芳賀製作所

福知山市三和町／京丹後市大宮町



2-3

精密技術で、 暮らしのバランスを整える

「健康で快適な暮らし」に貢献

近年、長時間のデスクワークやスマホ操作により姿勢不良(猫背)が深刻化し、学習能力や健康維持に悪影響を及ぼす事例が増えています。成長期の中高生のみならず、多様な世代の「健康で快適な暮らし」に貢献します。

水平器の専門メーカー

アカツキ製作所は1919年(大正8年)に創業しました。これまで、アナログ式(気泡管式)水平器を中心に製品を展開し、特に工業界で広く販売実績があります。

日常生活に安定感を提供

私たちの水平器は、建設や工業分野にとどまらず、日常生活に安定感を提供します。家庭、オフィス、さらには健康管理の場面でバランスを生み出し、暮らしに貢献します。



京都北都信用金庫
株式会社アカツキ製作所
綾部市井倉新町石風呂53



2-4

海の京都の伝統と 地域産業を未来へつなぐ

地域密着型の金融機関

1901年に「宮津信用組合」として設立され、120年以上の歴史を持つ信用金庫です。京都府北部を中心に、隣接する兵庫県・福井県の13市4郡の広い地域で営業しています。

地域活性化への積極的な取り組み

地域課題解決型金融として、地元企業の売上向上や魅力の発信、各種機関との協働、事業者への有益な情報提供、コミュニティづくりなど、地域を元気にする活動を行っています。

社会課題に取り組む企業を支援

単なる利益追求ではなく、環境・社会・ガバナンス(ESG)や持続可能な開発目標(SDGs)といった社会的インパクトを重視した「ソーシャル企業認証制度」や「ソーシャルグッド融資」を通じ、持続可能な地域社会の実現に取り組んでいます。



京都北都信用金庫
宮津市字鶴賀2054-1



3-1

使い続けるために、作り続ける まこもドーム

心とからだを整える、やすらぎの空間

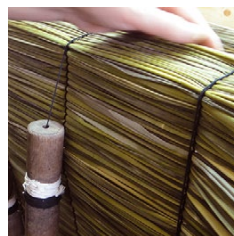
まこもドームは、瞑想やリラックス、ペットや子どもの居場所にもぴったり。自然の香りと温もりに包まれる特別な空間をお楽しみください。

自然から生まれた、やさしい素材「まこも」

まこもは水田で育つイネ科の植物。食べたり、編んだり、神聖な場でも使われてきた、日本の自然と共にある伝統素材です。

伝統を超えて広がる、まこもの新しい可能性

神社や茶室などで親しまれてきたまこも。近年は使われる機会が限られてきましたが、その魅力を現代の暮らしの中で楽しむ新しい提案が「まこもドーム」です。



DESIGN WEEK KYOTO

京すだれ川崎

亀岡市千代川町千原片ボコ14-3

3-2

使い続けるために、作り続ける グラデーションすだれ

希少な国産ひごを使った、竹のすだれ

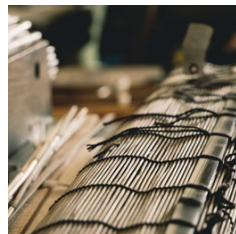
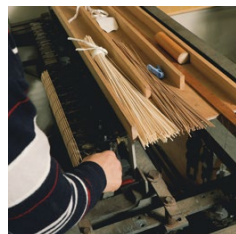
材料は、今では数少ない国内のひご職人が竹から削り出した2ミリ幅の丸ひご。九州産の貴重な素材を使って作られています。

着物から着想を得た、美しいぼかしの表現

着物のぼかし染めをヒントに、竹ひごを染めて、1本ずつ手作業で編み上げたグラデーション。和の美意識が光る、唯一無二のすだれです。

100年使える、自然とともにある暮らしの道具

竹は1～2年で育ち、すだれは修理しながら何十年と使える設計になっています。役目を終えれば土に還る、自然と調和した持続可能なものづくりです。



DESIGN WEEK KYOTO

京すだれ川崎

亀岡市千代川町千原片ボコ14-3

3-3

自然と融合する義肢装具

義足フォームカバー「藍葉装衣」(あいのはそうえ)

義足全体が「藍の葉」に包まれるようなデザイン

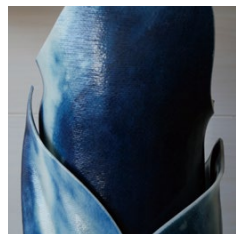
藍染による身体との一体感や自然との調和を表現しています。葉が身体を包み込むようなシルエットは、単なる装飾ではなく、義足と身体つながりを象徴しています。

視覚と触覚に訴える染めと表面加工

絞り染めによる有機的な模様と、筋肉や葉脈を思わせる凹凸のある表面形状により、光の反射や触り心地まで考慮したデザインです。

日常空間で藍色を楽しめるオブジェにも

非装着時には、空間に溶け込みながら藍の美しさを楽しめるオブジェ「装衣交々(そういこもごも)」に変容します。



DESIGN WEEK KYOTO
KYOTO gishi*design
宇治市木幡花揃29-4

3-4

作り手と使い手が共創し、思い出が持続するスツール

古材をアップサイクルし、そこに宿る思いをつなぐ

スツールの木には、能登半島地震で被災した建物の廃材を使用。廃棄するのではなく、新しい形に生まれ変わらせることで、『思い出をつなぐ』という想いが込められています。



釘を使わない伝統的な技術でつなぐ

スツールの脚部の接合は、釘を使わない「割り楔柄(くさびほぞ)接ぎ」により組み上げられており、丁寧な仕事に対する職人のプライドが光ります。



刺繍技術と意匠で廃棄生地をアップサイクルし、思いをつなぐ

クッション部の生地には、丹後の織元倉庫に眠っていた使えなくなった丹後ちりめんを使用。刺繍の技術を用いて大切な記憶を意匠として表現し、生地に思い出を吹き込みました。



DESIGN WEEK KYOTO

株式会社溝川 × 有限会社三葉商事

京丹後市大宮町口大野104

3-5

リバティ × 丸仙 特別コレクション

創業150周年同士のコラボレーション

1875年創業の英国「リバティ」と、同じ創業年の丹後ちりめん工房「丸仙」がコラボした記念コレクションの風呂敷です。英国パビリオンで販売されています。

文化とクラフツマンシップへのオマージュ

明治時代にリバティ創業者夫妻が京都を訪れて影響を受けたという、旅と東洋への憧れへのオマージュであり、両ブランドが大切にしてきた職人技と美意識への敬意を表しています。

出会いと学びが生まれた特別な京都への旅

今回のコラボは、リバティ社メンバーの京都北部・丹後地域への旅から実現しました。このような京都の風土・文化やクラフツマンシップに触れる特別なプログラムを提供しています。



DESIGN WEEK KYOTO

リバティ × 丸仙株式会社 × COS KYOTO株式会社

京都市下京区朱雀宝蔵町34 Umekoji MArKEt3階



3-6

鑑賞用美術工具 漆ラチェットハンドル

工具としての高精度と機能美

機能性に優れた高精度の工具に、伝統工芸である漆の装飾を融合。工具でありながら鑑賞しても美しい“美術工芸品”という新たなジャンルのものづくりです。

伝統技法の粋を集めた装飾美

蒔絵、白檀塗り、螺鈿(らでん)など、日本の漆芸を代表する技法を用い、一本一本を熟練の職人が手作業で仕上げています。

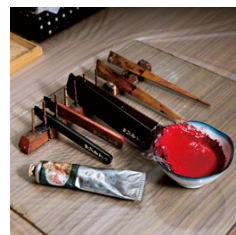
京都発・異分野コラボによる革新

精密機械の「KTC」と伝統工芸の「佐藤喜代松商店」。京都の異なる分野のものづくり企業が手を組んで生まれた観賞用美術工具です。

(企画協力:京都市産業技術研究所)



DESIGN WEEK KYOTO
株式会社佐藤喜代松商店 × KTC
京都市北区平野宮西町105



京瓦「キモノタイル」に覆われた 空間デザインと映像・音楽によるノンバーバル表現

オリジナルの京瓦「キモノタイル」によって
質感を統一したミニマルかつ静謐な空間を通じて、
来場者がじっくりと京都の未来と過去に
向き合えるような体験を創出します。
さらに、そこに加わるノンバーバルな映像と音響は、
空間と一体となりながらその多面的な魅力を物語ります。



映像紹介



桑畑

撮影地：京丹後市（京丹後市）
協力者：有限会社三徳



絹ガラス

撮影地：スタジオ
協力者：株式会社 伊と幸



繭玉

撮影地：スタジオ
協力者：丹後織物工業組合



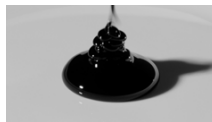
京黒紋付染

撮影地：株式会社京都紋付（京都市中京区）
協力者：株式会社京都紋付



機械織物

撮影地：小嶋織物株式会社（木津川市）
協力者：小嶋織物株式会社



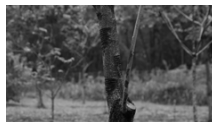
ボタリと落ちる漆

撮影地：スタジオ



藤糸

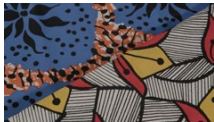
撮影地：藤織り伝承交流館（宮津市）
協力者：丹後藤織り保存会



漆かき

撮影地：福知山市夜久野町（福知山市）
協力者：NPO法人丹波漆

映像紹介



アフリカンプリント生地

撮影地：スタジオ

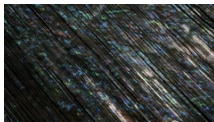
協力者：株式会社AFURIKA DOGS



アフリカドッグス

撮影地：AFRIKA DOGS(京都市下京区)

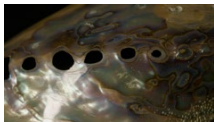
協力者：株式会社AFURIKA DOGS



螺鈿の糸

撮影地：スタジオ

協力者：民谷螺鈿株式会社



貝殻の輝き

撮影地：スタジオ

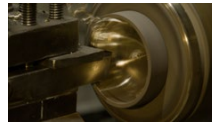
協力者：民谷螺鈿株式会社



京瓦

撮影地：株式会社京瓦 浅田製瓦工場
(京都市伏見区)

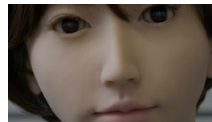
協力者：株式会社京瓦 浅田製瓦工場



佐波理おりん

撮影地：有限会社南條工房(宇治市)

協力者：有限会社南條工房



エリカ

撮影地：株式会社国際電気通信基礎技術研究所
深層インタラクション総合研究所

石黒浩特別研究所(京都府相楽郡精華町)

協力者：株式会社国際電気通信基礎技術研究所
深層インタラクション総合研究所

(JST ERATO 石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト)

(JST ムーンショット型研究開発事業 目標1 アタカー共生社会プロジェクト)



人と機械の融合

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
(京都市下京区)

協力者：オムロン株式会社

映像紹介



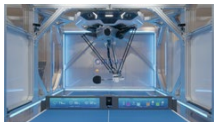
センシング技術

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
（京都市下京区）
協力者：オムロン株式会社



温室効果ガスを資源に変える 微生物培養システム

撮影地：Symbiobe 株式会社
（京都市西京区）
協力者：Symbiobe 株式会社



卓球ロボット

「フォルフェウス(FORPHEUS)」

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
（京都市下京区）
協力者：オムロン株式会社



X線発生装置

撮影地：島津製作所 創業記念資料館
（京都市中京区）
協力者：島津製作所



X線装置「ダイアナ号」で撮影した 胸部写真

撮影地：島津製作所 創業記念資料館
（京都市中京区）
協力者：島津製作所

じゅんおんはいけい

巡音拝景

京都府の今の音と、文献などに記述された音をあつめ、
そこに新たな音を配置(Composition=作曲)して制作する。

1996年に環境省(当時環境庁)は「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定した。それから約30年が経ち、改めて京都府の音を取り上げる。温暖化が加速し、四季が失われつつある現代において山や森林など木々は大変重要で貴重なものである。京都府には豊かな自然があり、美しい音が存在している。自然がこれからも失われないことを祈りながらフィールドレコーディングをした。前述の「音風景100選」で取り上げられたものに加え、新録している。

さらに文学の中にも多くの音の記述がある。録音技術が生まれる以前には古来から人々はことばを使って音を集めた。こういった音を集めることもフィールドレコーディングである。

フィールドレコーディングリスト

Part-1 るり溪(南丹市) 船着場(伊根町) 舞鶴港(舞鶴市) 宮津湾(宮津市) 石清水八幡宮(八幡市)

Part-2 京都御所玉砂利(京都市) 清水寺(京都市) 鹿(京都市) 大江山(福知山市) ちりめん街道 天満神社(与謝野町)

Part-3 琴引浜(京丹後市) 琴滝(京丹波町) 宇治川(宇治市) 真福寺水琴窟(亀岡市) 妙心寺(退蔵院) 水琴窟(京都市)

Part-4 綾部大橋由良川(綾部市) 美濃山竹林(八幡市) 興聖寺(宇治市) 古世親水公園(亀岡市) 詩仙堂鹿おどし(京都市)

御香宮神社(京都市) 雷雨(京都市)

記述されたものからのフィールドレコーディングリスト

大原『平家物語』 鐘の音、鹿の音、虫の音

野宮『源氏物語』 虫の音、松風の音、雅楽の楽器の音

宇治『万葉集』 宇治川にして作る歌二首 1699-1700 雁の鳴き声、川の音

法成寺『栄花物語』 卷第十七「おむがく」 雅楽の演奏音

丹後『丹後国風土記』 逸文 嘆く声、歌

福知山『大江山絵詞』 雷、田楽

石清水八幡宮 世阿弥 能『弓八幡』、『放生川』 不思議な音楽、夜神楽の音

法勝寺『弁内侍日記』 後戸猿楽、鈴の音

谷崎潤一郎 潺湲亭「夢の浮橋」 添水(しおどし)の音

琴弾浜 木内石亭『雲根志』 海辺の砂浜の音

『蜻蛉日記』 車の音

『洛陽田楽記』 永長の大田楽

作・編曲:原 摩利彦

ギター:Polar M

フィールドレコーディング協力:村中真澄

リサーチ協力:原 瑠璃彦

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

株式会社 大城音響事務所

制作:MH Studio Inc. / TSUYURI

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会